

徳島県の職業性疾病等の状況

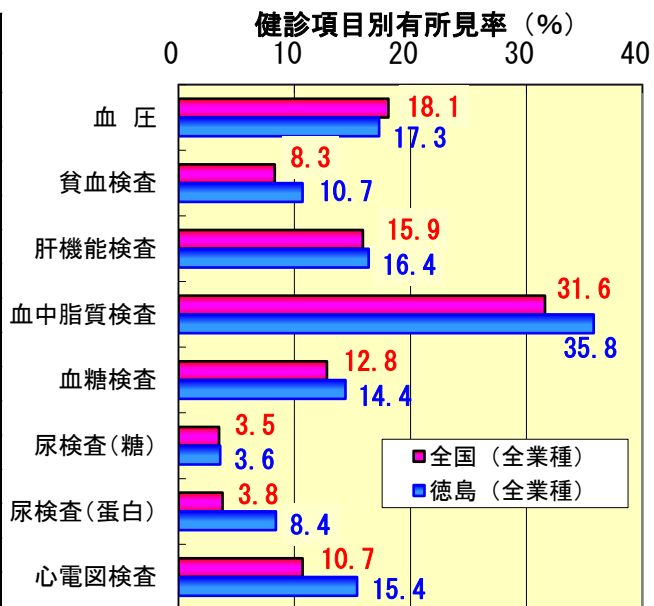
定期健康診断結果の推移

令和4年健康診断項目別有所見率の状況

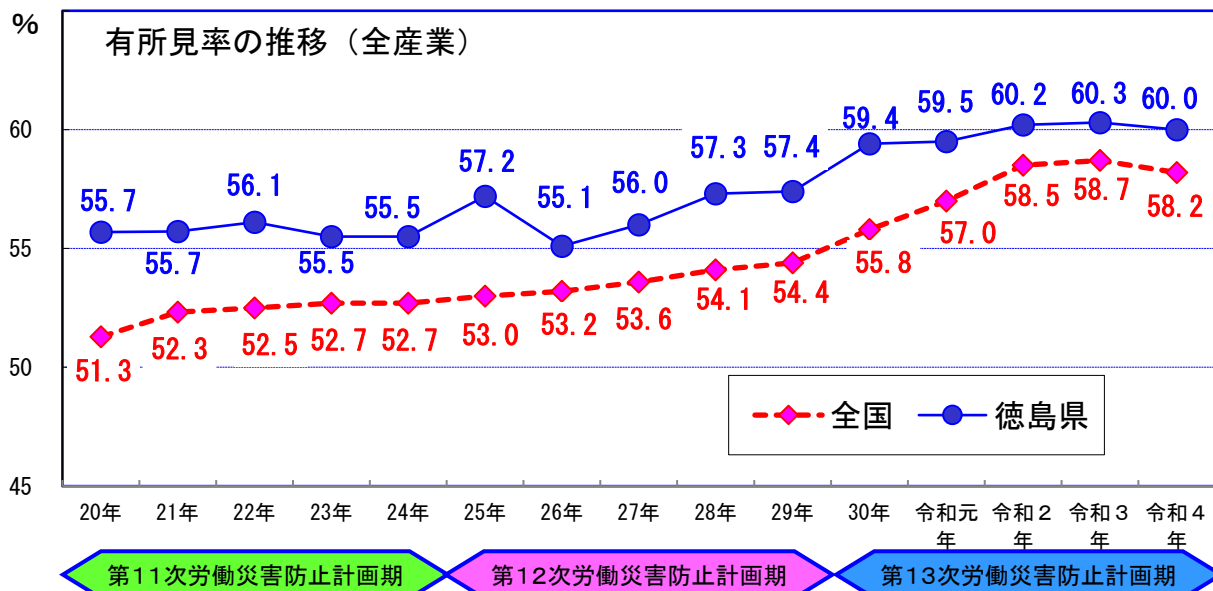
項目	業種	全国の 有所見率	徳島県の有所見率 (%)				
			全業種	製造業	建設業	運輸交通	商業
聴力 (1000Hz)		3.9	4.5	3.9	6.7	6.1	7.2
聴力 (4000Hz)		7.3	7.1	6.6	15.7	12.8	8.7
胸部X線検査		4.6	4.9	4.5	4.8	4.0	5.3
血圧		18.1	17.3	15.6	21.8	27.9	20.9
貧血検査		8.3	10.7	12.3	8.8	11.2	12.8
肝機能検査		15.9	16.4	18.8	22.5	21.0	14.2
血中脂質検査		31.6	35.8	37.7	33.9	44.6	30.8
血糖検査		12.8	14.4	16.0	15.7	16.9	14.4
尿検査 (糖)		3.5	3.6	3.4	5.3	7.3	3.1
尿検査 (蛋白)		3.8	8.4	9.6	13.0	11.1	5.5
心電図検査		10.7	15.4	18.5	13.3	14.0	18.1
所見のあった者		58.2	60.0	60.9	61.0	75.2	62.5

定期健康診断結果報告に基づく有所見率の推移

年別	区分	有所見率 (%)	
		全国	徳島県
第11次防	20年	51.3	55.7
	21年	52.3	55.7
	22年	52.5	56.1
	23年	52.7	55.5
	24年	52.7	55.5
第12次防	25年	53.0	57.2
	26年	53.2	55.1
	27年	53.6	56.0
	28年	54.1	57.3
	29年	54.4	57.4
第13次防	30年	55.8	59.4
	令和元年	57.0	59.5
	令和2年	58.5	60.2
	令和3年	58.7	60.3
令和4年	58.2	60.0	



※有所見率の推移は集計データの精査・再集計を反映しています。



第11次労働災害防止計画期

第12次労働災害防止計画期

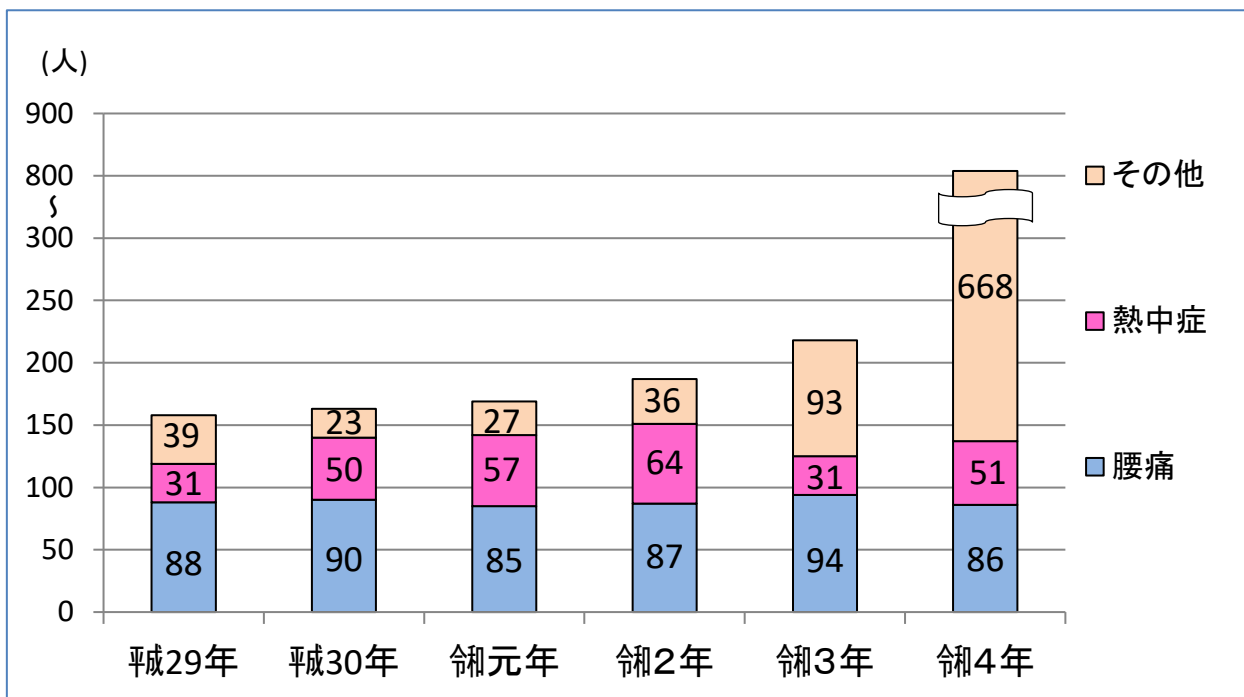
第13次労働災害防止計画期

徳島県の業務上疾病発生状況（平成29年～令和4年）

(人)

疾病別		年度等	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
(1)負傷に起因する疾病 (うち腰痛)			88 (88)	91 (90)	90 (85)	93 (87)	97 (94)	93 (86)
物理的 因子に よる	(2)有害光線による疾病				1			
	(3)電離放射線による疾病							
	(4)異常気圧下における疾病				1			
	(5)異常温度条件による疾病 (うち熱中症)		31 (31)	50 (50)	57 (57)	64 (64)	31 (31)	51 (51)
	(6)騒音による耳の疾病		14	11	6	5	1	6
	(7)(2)～(6)以外の原因による疾病					1		
	作業 様態に よる	(8)重激業務による運動器疾患と内臓脱				2		
(9)負傷によらない業務上の腰痛								
(10)振動障害			7	4	4	5	2	6
(11)手指前腕の障害及び顎肩腕症候群			9	4	1	4	3	4
(12)(8)～(11)以外の作業様態に起因する疾病					3			
(13)酸素欠乏症								
(14)化学物質による疾病(がんを除く)			3		2		24	4
(15)じん肺及びびん肺合併症			2		2	2	1	1
(16)病原体による疾病(新型コロナ含む)			2			13	56	638
がん	(17)電離放射線によるがん							
	(18)化学物質によるがん			2				
	(19)(17)、(18)以外の原因によるがん							
(20)過重労働による脳心				1				
(21)精神障害			2				2	1
(22)その他の業務によることの明らかな疾病							1	1
合 計			158	163	169	187	218	805

※ 数値は、労災給付件数を計上した



① 徳島労働局管内の業務上疾病（災害性腰痛）の発生状況

平成25年から令和4年までに県内の各労働基準監督署に請求された労災給付件数をベースに集計した災害性腰痛を含む業務上疾病の推移は下図のとおりです。腰痛は例年80～90件程度発生しており高止まりの状況が続いています。

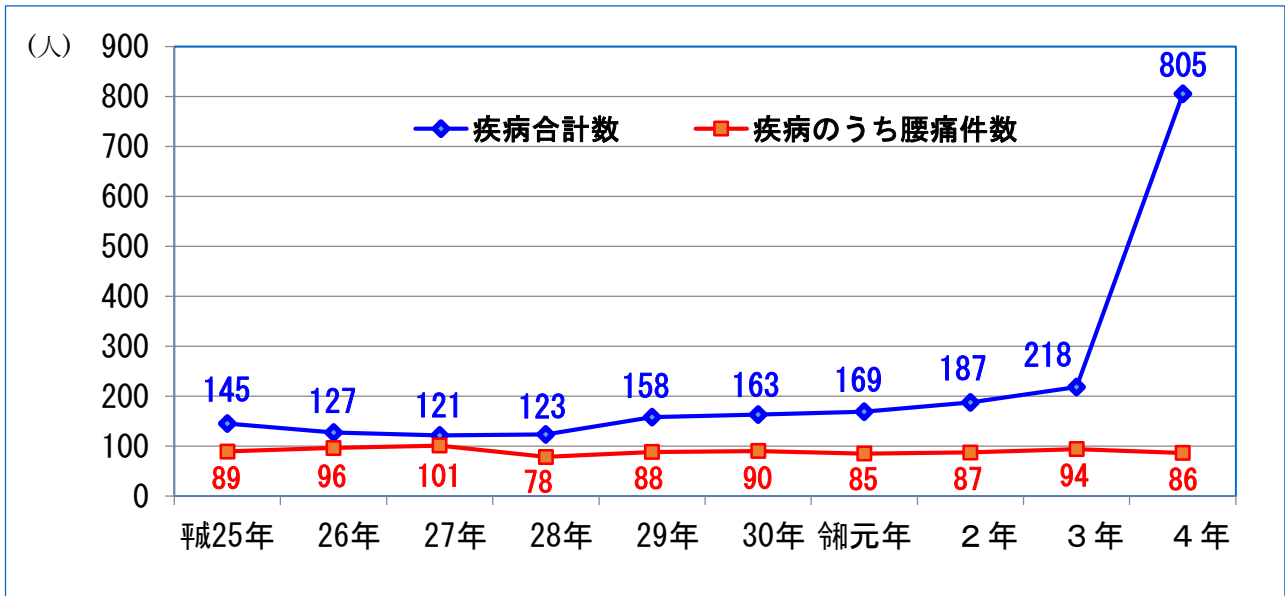


図1 業務上疾病の発生状況（徳島県）（平成25年～令和4年）

② 災害性腰痛等の発生状況

令和4年に県内で発生した業務上疾病の内訳は、図2「令和4年 業務上疾病の分類別発生状況(徳島県)」のとおりで、合計805人のうち新型コロナウイルス感染症等が約8割を占めています。また、新型コロナウイルス感染症等を除くと、「負傷に起因する疾病(主に災害性腰痛)」が約5割、「物理的因子による疾病(主に熱中症)」が約3割を占めています。

図2 令和4年 業務上疾病の分類別発生状況（徳島県）

